

# 美方高校新聞



発行所  
福井県立美方高等学校  
新 聞 部  
編集責任者  
新 聞 部

## 吹奏楽部春の定期演奏会 心惹きつける音色

三月二十七日、吹奏楽部の定期演奏会がパレア若狭で行われた。去年はコロナの影響で開催されなかったため、二年ぶりに吹奏楽部の全力の演奏を聴くことができた。会場は感染対策のため座席は一つおきに制限されたが、多くの観客が訪れ盛り上がった。また三月に卒業したOBも受け付け等サポート役として参加し、後輩を見守った。



第三部でテンションアゲアゲー

コンサートの開催にあたり顧問の石川先生は「コロナのこともあり宣伝はあまりしなかったがこんなに多くの来場に驚いた」と感激していた。第一部はタイタニック号をテーマにした「マードックからの最後の手紙」や風神をテーマにした「風白の乱舞」を演奏した。特に「風白の乱舞」は難曲への挑戦だったが、音色からは嵐や稲妻を思わせる臨場感と迫力のある仕上がりになっていた。



コスプレで雰囲気を出す生徒

第二部はスーパーマリオブラザーズやジュラシックパーク、ハリー・ポッターなどのUSJメドレーを楽しい雰囲気演奏した。各キャラクターのコスプレや風船を降らす演出で会場を盛り上げていた。第三部は二〇二〇年JPOP、ジブリ映画のシネマ・トリロジーなど馴染みのある曲で観客を惹きつけ、最後は吹奏楽部のテーマ曲でもあるディープパープルメドレーで会場を盛り上げ、演奏会の幕を閉じた。



力強く指揮する石川先生

去年はコロナの影響で開催できなかったが今年は無事開催でき、練習の成果も発揮でき嬉しく思う。今年度は、一年生が十七名入部した。今後のコンクールや演奏会に向けてより一層部員の成長を期待する。一丸となって頑張っていこう。

いる曲とその理由  
A 「風伯の乱舞」が印象

Q 印象に残っている曲とその理由

A 全体で合わせる機会が少ない中でも、全ての曲を完璧に合わせることができたこと。Q 本番までの努力したこと

A コロナの影響でコンサートに制限がかかってきた。Q 去年の先輩の思いを果たせたか

部長の原灯さん  
インタビュー

Q 定期演奏会を終えての感想

深い。「和の曲がしたい」という思いで選んだが、とても難しかった。その分、達成感が大きく嬉しかったから。Q 引退までの部活動をどう過ごしたいか

A コンクールや演奏会などの残りのイベントに向けて努力して、悔いがないよう、毎日楽しく過ごしたい。Q 去年の先輩の思いを果たせたか

A 去年の先輩ができなかった定期演奏会を開催していただき、お客さんに音楽を届けることができた先輩たちの思いも届けたと思う。

石川先生からの「コメント」



# 全国制覇 美方魂爆発



ボート部の勇者たち

三月二十七、二十八日、静岡県浜松市天竜ボート場にて全国高校選抜大会が行われた。昨年度の先輩たちの思いを胸に覚悟のレース。しかし、大会

直前の大雨でコースにトラブルが発生。大会日程を変更し、レース距離を一〇〇mにして開催に漕ぎつけた。この状況に動じることなく、美方高校クルーは男子かじ付きクオドルプル、女子かじ付きクオドルプル、女子ダブルスカルで優勝した。

## 男子 かじ付きクオドルプル

決勝では二五〇メートル地点まで全クルーが接戦していたがラスト二五〇メートルでコックスの脇田が「アタック」とチームに力を与え一位を制した。

## 女子 かじ付きクオドルプル

主将の山口遥平さんは、「冬からこの大会の優勝を目指してきた。レースでは後半五〇メートルからラストを踏ん張った。次はインターハイと国体があるので、美方高校として絶対に負けないように、三冠を獲得していきたい」と語った。



楽しそうにきゅんです！

## 女子 かじ付きクオドルプル

女子の馬野彩加さんは、「水上ではスピードを感じながら速さを追求する練習をしてきたが、予選はスタートが決まらず思うようなレースができなかった。決勝ではスタートから一気に飛び出し、ラストスパートで突き放した。全員が目標としていた優勝を達成できて嬉しい」と喜びを表した。



愛の新幹線ごっこ

## 女子ダブルスカル

鶴田彩桜さんと岡部清華さんは、大会直前に組んだペアだが息はぴったり。「全国制覇できて嬉しい。短い練習期間で不安だったが、いいリズムで漕げた。次も同じクルーかは分からないが、個人個人でもっと力をつけた」と意欲をみせた。



最強チームワーク

## 清水先生のコメント

去年はコロナで大会が中止になったが、先輩の思いも乗せてよく頑張ってくれた。レース日程が変更されてもよく対応できていた。冬の厳しいトレーニングが効いたのだろう。福井インターハイでもう一度日本一を目指したいし、国体も見据えて長期的に一つ一つ取り組んでいきたい。今まで以上に追われる立場になるから技術を磨いてよりスピードを追求してほしいと語った。

## 結果発表

### 男子かじ付き

クオドルプル優勝  
山口遥平、津志田匠太郎、柴崎峻佑、岩崎麟太郎、脇田蓮太郎

### 女子かじ付き

クオドルプル優勝  
清水空、上村柚子、柴田佳歩、馬野彩加、浅野萌菜  
女子ダブルスカル優勝  
鶴田彩桜、岡部清華

## 編集後記

号外を読んでいただきありがとうございます。今回取材させていただいた吹奏楽部、ボート部の皆さん忙しい中ありがとうございます。一向に収まる気配の無いコロナ過の中どちらも無事に開催できたことを嬉しく思います。  
新入生の皆さんも登録を終え、活動が始まったことと思います。楽しいことばかりではないと思いますが、文武両道を目指してほしいです。三年生の皆さんは最後の大会やコンクールを目前にしてやる気に満ちていると思います。一・二年生の皆さんは、先輩が活躍する姿を目に焼き付けておきましょう。

